

ロータリー:
変化をもたらす

Nagai Rotary Club

長井ロータリークラブ



国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー

Weekly report

長井ロータリークラブ会長

渡辺 清隆

第2800地区ガバナー

鈴木 一作

長井ロータリークラブ幹事

大道寺 信

第6ブロックガバナー補佐

小林 正芳

パストガバナー

渡部 保太郎

例会日 毎週火曜日 12:15~13:15

例会場 タスパークホテル TEL0238-88-1833

事務局 長井商工会議所内 TEL0238-83-2047

会報委員 土屋 茂樹・浅野 敏明・栗田 正彦・齋藤 圭央

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成30年6月12日(火曜日) 第2,751回

<例会報告 NO.36>

【月間テーマ】 ロータリー親睦活動

活動報告 Part1

★会長挨拶(渡辺清隆会長)



今日も米山梅吉さんの話です。

ついにサンフランシスコへと渡った梅吉は、まず、大学へ入る準備のため高等学校であったカルフォルニア州のベルモント・アカデミーに入学し、その後、ウェスレアン大学で修士号を獲得し、シラキュース大学で法学を学びます。苦学生であった梅吉は労働の必要もあり卒業には通常かかる年月の倍の期間、8年間にも及びました。

少し話は変わりますが、今現在日本はアジアの国から留学したい憧れの国なのです。しかし、物価が高く、バイトに明け暮れ学業が出来ずに諦めて本国に帰って行く青年がかなり多くいます。その中でロータリーの米山奨学会のことを知り、奨学金をいただき、学業に専念出来て、日本と本国とで弁護士となり活躍している中国のロータリアンの話を先日聞きました。梅吉の8年間のアメリカでの苦学生時代が、米山奨学会として花開いたのだと思います。

梅吉は政治をかじり、文学を味わい、といったように様々見聞を広め、日本に帰ってから新聞記者としての仕事に生かそうと考えていました。日清戦争が終わった明治28年、梅吉はついに帰国します。そして長年の願望である新聞記者の職を探しますが、狭き門とお金の安さで諦めます。この頃、梅吉は友人の一人から、晩年の勝海舟を紹介され彼のところへ出入りを始めます。そこで黒船を率いて日本に開国を迫ったペリーについ

て書き上げます。憂国の書である「提督ペリリ」という一冊の本を書き上げ、その題字を勝海舟に書いてもらい、当時、最も大きな出版社であった博文館より出版します。相当な売れ行きだったようです。これがうけたのかわかりませんが、明治29年に梅吉は結婚します。しかし、文筆だけではとても世間並みの生活ができる時代ではなく、生活費を稼ぐために梅吉は旧友の紹介で当時英語ができる人を求めている日本鉄道会社にひとまず入社しました。しかし、給料は安く役目は低く出世の見込みも全くなさそうなので梅吉は井上馨を養父にもつ旧友の藤田四郎に相談し井上馨の推薦を受け三井銀行への入行をようやく果たしました。所帯持ちの30歳で銀行員になるという極めて遅いスタートであることに加え在米中も実業方面の教育を少しも受けていなかった梅吉です。これまでは新聞記者とか文筆といった夢を追いかけていたのですから。しかし、銀行や金融に関する書物を読み漁り、遅れを取り戻していきます。頭のいい梅吉ですから、間もなくとうかくをあらわして入行わずか10ヶ月の明治31年7月には神戸支店次席となり、同年8月には14ヶ月の欧米銀行業務取調のため出張を命じられます。そして異例の出世を成し遂げます。帰国後、彼らがまとめた「三井銀行欧米出張員報告書」は三井銀行だけでなく他銀からの申し入れが殺到し、今日の日本の諸銀行の実務のあり方はこの報告書によって形づけたといわれます。その後も梅吉は破格の出世を続け、明治33年の大阪支店長代理をはじめとして、各支店を経て明治44年には42歳という若さにして常務取締役就任します。30歳で入行して12年で重役とは、彼の能力はもちろん素晴らしいですが井上馨の推薦も大きな力になったのではと私は推測します。

大正2年には英仏米の資本家と協議をします。この時の梅吉の意見を参考として、三井銀行に為替を扱う外国課が新設されます。さらに大正6年には日本帝国政府特派財政経済委員とし

て米国に行くなど、経済界の重鎮として梅吉の発言と行動は重みを増していき、公的にはこの上ないほど順調であった梅吉でしたが・・・今日はここまでとします。今後の行方は来週です。

もうひとつお話しします。テレビのニュースで5才の女の子への両親からの暴行・虐待、いじめがあったことを見て私はかわいそうで、悔しくて、腹が立ってなりません。5才の女の子がいろいろ辛い思いをして、いじめられ続け亡くなりました。あのニュースを見るたびに涙が止まりません。私は、その子に、美味しい寿司をいっぱい食べさせてあげたかった・・・。

日本の国も、虐待が疑われたら、家の中でも捜査し、児童相談所にもたせるなどの法をつくり、保護出来る様にして欲しいし、そんなことのない日本にして欲しいと思います。

★幹事報告(大道寺幹事)

- ・私の役目ももう少しです。本日は特にありません。
- ・早退届 堺 清一 会員

★委員会報告

次年度幹事 那須 修 副幹事

- ・次年度第3回理事会を6月19日(火)午前11時30分より開催いたします。
- ・次年度の米山奨学・学友セミナーが7月7日(土)に天童ホテルにて開催されます。参加対象者、興味のある方も参加できるようですので、希望の方はご連絡ください。

★ポールハリスフェロー表彰

堺 清一 会員 4回

<ニコニコBOX>

- ・堺 清一 会員

ポールハリスフェロー表彰を受けて

★活動報告 Part 1

○会場監督 (齋藤 裕之 SAA)



・例会の秩序と品位を保ち質の向上を目指すという点において、会員各位のご協力により、概ね合格点を頂けるのではないかと思います。一年間ありがとうございました。

○ニコニコBOX委員会 (五十嵐順子委員長)



・BOXを工夫しながら1年間活動することができました。目標の70万に対して、5月末現在、58万7500円で、まだ達成することが出来ていませんが、最終例会までニコニコBOXをお願いいたします。一年間ありがとうございました。

○会員選考・職業分類委員会 (手塚典雄委員長)



・今年度、弁護士の新規入会がありました。結果、会員1名の純増することができました。

○クラブ管理運営常任委員会 (遠藤伴明委員長)



・各委員会には渡辺会長の方針に基づき活動を行って頂きありがとうございました。概ね計画通りに進めたと思います。

○ロータリー情報・広報・ICO委員会 (渡部堅一委員長)

・新入会員セミナーを実施する事が出来なかったため、次年度の早期開催をしていただければと思います。ロータリーの友の紹介もあまりできませんでした。RYLAの報告など前田委員長にして頂いて大変ありがたく思います。

○プログラム委員会 (塚田弘一委員長)

・プログラムについて私の独断となってしまう委員の皆さんには大変恐縮しているところでございます。地区目標に少しでも近づきたいということを念頭に置きながら、講師の選定にあたりました。色々な観点から話があって良かったと言って頂き、それが救いでございます。

○クラブ会報委員会 (土屋茂樹委員長)

・会報の発行につきましては翌週の例会に配布することを目標にし、概ね達成出来たと思います。ホームページへのアップにつきましては毎回アップする事が出来なかったことが反省点でございます。皆さんにご協力頂きありがとうございました。

○職業奉仕委員会(栗田正彦委員長)

・いろいろやりたいことはありましたが、入院ということで、大病を患ってしまって実際に何もできなかったというのが本音のところでございます。会員卓話だけはこなすことが出来ましたが他は手伝うことが出来なかったというところです。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。これからも仕事にロータリーに頑張っていきますので宜しくお願い致します。

★次回例会予定

6月19日(火) 12:15～ 活動報告 Part 2

★出席報告

6月12日 例会 報告者 伊藤 克也 委員長

	会員数 (免除)	出席数	出席率	MU数	修正 出席数	修正 出席率
本日	30	21	70 %			
前回 (6/12)	30	26	86.66 %			
前々回 (6/5)	30	24	80 %			